

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

|                 |                                                                                        |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリハット                                                                                 |
| 2. 体験した事例の名称    | スタンドパイプ離脱時の危険性                                                                         |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 火災現場で消火栓からスタンドパイプを離脱する際、圧が抜けていることを確認せずに離脱してしまった。その際にスタンドパイプが勢いよく上方に弾み、危うく怪我をするところであった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | ホース内の圧が抜けていると思い込んでいた。隊員間の連携不足。                                                         |

### 【体験した事例の直接的な原因について】

|                  |              |
|------------------|--------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 情報入力に問題があった。 |
|------------------|--------------|

### 【体験した事例について】

|                                  |                      |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成22年1月6日 午後8時頃      |
| 2. 発生した当時の天候                     | 曇り                   |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：屋外の公設消火栓上         |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | その他：器具がぶつかる          |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動終了時、[ 木造建物 ]   |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | その他：ホース撤収作業          |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した              |



c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | はい  |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | はい  |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | はい  |
| ・暑かった(寒かった)。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | はい  |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

○装備・資機材の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

○活動環境の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

○指揮・情報伝達の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

## スタンドパイプ離脱時写真

